

アクアロード



宅地造成 施工中



宅地造成 完成



バスターミナル (沖縄)

概要

集中豪雨による道路冠水被害を抑制する「アクアロード」は、EPS土木工法の実績と技術を活かして開発された。道路地下を有効に活用できる雨水貯留浸透槽を構築することで、次のような効果が期待できる。

1. 集中豪雨時の冠水を道路下に逃がし、冠水被害を抑制する。
2. 軟弱地盤や擁壁背面・橋台背面などへの荷重軽減、土圧軽減のための軽量盛土として使用可能。水位が高い場合の浮力対策にも対応可能。
3. 雨水を一時的に貯めることで、集中豪雨時に浸水被害の軽減や河川の氾濫を抑制する。
4. 内部空間に貯めた雨水を、緑化対策・防水用水などへ利用できる。

また、軽量なため運搬も容易、また耐圧性も高く、土被り60cm以上確保することで、総重量25tのトラックが通行可能である。施工は1段ごとに交差し積み上げるだけでよく、メンテナンスも容易である。

建設技術審査証明
(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
建技審証 第1012号
(一財) 土木研究センター

特長

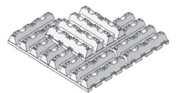
本製品は、道路地下に適用可能な樹脂製貯留浸透槽の構造部材として、建設技術審査証明を取得しているのははじめ、次のような特長を持つ。

1. 信頼性

「道路地下に適用可能な樹脂製貯留浸透槽の構造部材」として、財団法人土木研究センターより「建設技術審査証明」(建技審証第1012号)を取得し、授与された。

2. 安定性

部材同士が連結しあう千鳥配置構造により、水平荷重に強い構造体であるため、安定性に優れる。



3. 高強度

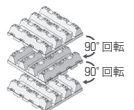
大型車両を想定したT荷重(245kN)に対応。

4. 空隙率

空隙率が非常に大きく、体積あたり92%以上の水を貯留することが可能。

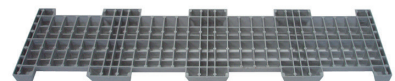
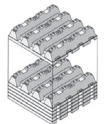
5. 施工性

部材が軽量であり、勘合部材を使わず組み上げるだけの簡単な施工のため、急速施工が可能。



6. 収納性

移送、保管時はコンパクトに積層できるため、運搬車両が少なく輸送コストを削減できる。



製品写真 (左: フルサイズ、中: 積層状態、右: スペーサー)